

3/22 薦川さんが水泳で全国大会に出場



▲5歳からサンスポーツクラブ加西で水泳を始めた薦川さん。

加西市は、3月27～30日に東京辰巳国際水泳場で行われた「第38回全国JOCジュニアオリンピックカップ春季大会」に出場した薦川真優さん（泉小4年）に、今後の活躍を期待して、文化・スポーツ振興賞賛金を贈呈しました。

女子200m個人メドレーで出場した薦川さんは「夢はオリンピックに出場したい」と力強く話しました。

3/22 市民の寄付を活用し自転車を提供



▲自転車を届ける県自転車軽自動車商業協同組合加西支部。

市民の方から「経済的な支援が必要なご家庭に役立ててほしい」といただいた寄付を活用し、通学用として使われていた自転車6台を整備して、4月から中学校に入学するひとり親家庭の子どもらに無償提供しました。

自転車は、兵庫県自転車軽自動車商業協同組合加西支部が点検の上、前カゴやブレーキなどの必要な部品を調達し修理していただきました。

3/26 豊穰の国はりま物産展



▲農事組合法人玉野町営農組合による「黒豆ご飯」の試食販売。

姫路大手前公園で3月26・27日、播磨圏域連携中枢都市圏8市8町主催の「豊穰の国はりま大物産展」が開催され、加西市から観光まちづくり協会などが出店しました。

恵み豊かな播磨の产品をPRすることを目的とし、今回が初開催。参画市町長によるブランド宣言で幕を開け、5万人の来場者で賑わいました。

3/30 五百羅漢に公衆トイレが完成



▲完成した公衆トイレ前でトイレットペーパーカット。

五百羅漢前に、バリアフリーに対応した公衆トイレが完成しました。これまで駐車場に小型のトイレしかなかったため、バリアフリー化のトイレを整備し、車いすご利用の方にも拝観していただきやすいようになりました。

平成25年6月には、五百羅漢保存委員会が、羅漢寺境内入口から道を整備（バリアフリー化）しています。

播磨国風土記の里 加西



事業の取り組み等を紹介



かさい観光NAVI

遊ぶ・見る・食べるなどの観光情報が満載



子育て、定住支援情報



子育て・定住支援情報サイト



かさい子育てNAVI

子育てイベントや子育ての悩みを解決



4/2 桜の花と舞う屋台



▲勇ましい掛け声と太鼓の音を響かせながら練り歩く屋台。

播州路に春を告げる「北条節句まつり」が4月2・3日、北条町北条の住吉神社などで行われました。

桜が咲く境内で、金銀華麗な鷲・海老・獅子の彫金技術、純白や黄金色の伊達綱など、ひとつひとつが一級の芸術品で飾られた化粧屋台12台が豪快な練りを披露。また、龍王舞や浦安舞などが奉納され、多くの人で賑わいました。

4/5 狂言文化を継承していく9人が合格



▲藤田六郎兵衛さん（右端）から狂言の所作を教わる子どもたち。

野村萬斎さんが監修した新作狂言『根日女』を演じる「こども狂言塾」の第3期生オーディションを、アスティアかさいで行いました。

参加した小学4～6年生9人が、学校名と名前を発声。加西市能・狂言プロジェクト総合プロデューサーの笛方藤田流十一世宗家の藤田六郎兵衛さんらが審査し、全員が合格しました。

4/3 宇仁小の児童がふるさとガイド



▲「さくらまつり」でデビューした児童。

地域の歴史や文化財を学び、ふるさとを愛する豊かな心を育むことを目的に、「宇仁っ子ふるさとガイド」が結成されました。

4月3日の「さくらまつり 宇仁の里・花畠街道」では、宇仁小学校の5、6年生9人が、宇仁郷まちづくり協議会の協力もあり、参加者に八王子神社や鏡山古墳などを案内しました。

4/9 空から見る景色に感動



▲満開の桜と熱気球の係留飛行体験を楽しむ参加者。

鶴野南町では、子どもたちから「加西の空で熱気球をよく見かけるようになり、一度乗ってみたい」と声が上がり、播磨風船飛行隊（鶴鷹司隊長）の協力を得て、熱気球の係留飛行体験が行われました。

同町の三世代交流事業に参加した子どもから高齢者まで120人が、上空から見る加西の景色に感動し、空中浮遊を楽しみました。

加西市のことなら

ホームページがより見やすくなりました。スマートフォンにも対応

加西市ホームページ

加西市

検索

テレビで緊急情報「まちナビ」



サンテレビのデータ放送で緊急情報などを発信

災害に備えて「かさい防災ネット」

災害時に避難勧告などの防災情報をメールで自動配信

